



ボランティアセンターだより

2021.11
しもつき
霜月 105号

編集・発行 泉南市ボランティアセンター 泉南市ボランティア連絡協議会
泉南市樽井一丁目8番47号 TEL 072(483)0294
泉南市総合福祉センター(あいびあ泉南)3階 sennan-shi-vc@sennan-shakyo.or.jp

支えられたり
支えたり



コロナ禍の子ども見守りボランティア



昨年4月から登下校時間が不規則になったり、緊急事態宣言が発出されたり不安な毎日ですが、子どもたちは元気に登校しています。

その子どもたちを見守る活動は、雨の日も風の日もずっと続いています。

コロナ禍での現状や対応と「子ども安全パトロール員」の感想を全小学校区で伺いました。

青色防犯パトロール員(青パト)

- ・青色パトロールカーは各小学校区に1台あり、主に下校時に活動している
- ・2人以上で乗車するが、緊急事態宣言中は車内が密になるのを避けるため、休止が多い
- ・毎年夏休み中に講習会を実施していたが、今年度は緊急事態宣言のため中止になった



登校を見守る校門受付員

子ども安全パトロール員

- ・各小学校で募集され、全員に名札と帽子(緑の蛍光色)が渡される
- ・通学路や危険な場所に立ち「あいさつ」や「声かけ」をする
- ・コロナ禍の不安や高齢化問題もあるが、新しい登録者もあり、保護者の協力も大きい

子ども安全パトロール員の感想

- ・いつも同じ場所に立っているので親しみを感じてもらえる
- ・マスク越しでも元気にあいさつをしてくれる
- ・会社の近くで危険箇所気付、仕事前の30分間、見守り活動をしている
- ・お互いにマスクをしているので表情が分からず、コミュニケーションを取りづらい
- ・地域が学校に関わる行事が昨年から殆ど中止になり、子どもたちの様子が分からない
- ・パトロール員同士の集まりも中止されているので情報交換ができない



雨の日の見守り活動



子どもたちの手描きの旗

地域の支えで子どもの安全が守られています。
もっと多くの方のご協力を必要としていますので、詳しくは各小学校・教育委員会指導課(TEL 483-3671)までお問い合わせください。

ボランティアサロン

布で作るクリスマスリース

日時 12月7日(火) 13:30~15:00
場所 泉南市総合福祉センター(あいびあ泉南) 3階ボランティアセンター
講師 小物作り「ソーイングクラブ」
定員 15名(申込み順)
参加費 500円(材料費のみ)
持ち物 針、糸切りばさみ
受付 11月8日(月)~30日(火)
申込み・問合せ
泉南市ボランティアセンター TEL 483-0294
泉南市社会福祉協議会
TEL 482-1027 FAX 482-1618



※新型コロナウイルス感染拡大状況により中止になる場合があります。

市民防災講座

1人ひとりが防災について考えてみよう!

11月4日(木) 14:00~16:00
災害避難についての話と避難所運営ゲーム
11月18日(木) 14:00~16:00
災害タイムラインの話とクロスロードゲーム
場所 泉南市総合福祉センター(あいびあ泉南)1階 大会議室
講師 特定非営利活動法人日本防災士会 大阪府支部 副支部長 田中 実 氏
定員 30名(申込み順)
受付 10月18日(月)~11月2日(火)
申込み問合せ 泉南市社会福祉協議会 TEL 482-1027 FAX 482-1618

希望者に
手話通訳あり

手作り紙芝居で 平和の大切さを!

泉南市在住の浅田ひでこさんの手作り紙芝居「戦争孤児」を上演する様子が8月12日(木)に読売テレビ「かんさい情報ネットten.」で放送されました。

浅田さんは、10年前から大阪国際平和センター「ピース大阪」で手作り紙芝居を通して子どもたちに平和の大切さを語りかけており、「戦争孤児」の紙芝居は、実在の方から体験談を聞き取り、制作されたものです。

今回の上演は読売テレビからの依頼で、夏休み中の子どもたちに観てもらうために、NPO法人ほしぞら&ふれあいハウス鳴滝の協力で行なわれ、集まった小学生や大人も戦争の悲惨さや平和の尊さを感じたひとときでした。



編集の窓

世の中、コロナ禍になって2年近く経っている。私たちの、訪問「そよ風」の活動も中止になったままである。
次々と新型コロナウイルスの変異株などが流行り出し、いつになったら活動が再開できるのか心配になってくる。
月一回の施設訪問に「待ってたんよ。嬉しい嬉しい」と満面の笑みで迎えてくれたおばあちゃんや、大きな声で歌ってくれたおじいちゃんたちの懐かしい顔が浮かんでくる。
訪問しなくても何かできることはないのか。仲間と相談し、DVDにして施設の人たちに見てもらおうということになった。
撮影当日、初めてカメラに向かって歌う歌や紙芝居。
良いものを作ろうと何度もやり直しをするが、何か物足りない。
今までみんなの手拍子や笑い声に、いかに助けられていたかを痛感する。
やはり一日も早くみんなと再会したい。
楽観は禁物だが、「明けぬ夜はない」と信じて、明るく乗り切っていきたいものだ。

新井 幸子